

東日本事例発表オンライン発表会 エントリーシート

法人名	株式会社長谷工シニアウェルデザイン	施設名	センチュリーシティ大宮公園
発表タイトル	残業時間削減への取り組み		
研究の目的	残業がほぼ毎日発生している状況があり、従業員への身体的・時間的負担が常となっていた。適正時間に適正業務とすることで、従業員へは働きやすい職場環境＝人材定着としての還元、運営面としては時間外削減＝人件費削減としての還元を目的とする		
発表の概要	時間外が発生する要因を分析し、内的要因・外的要因に対し様々な取り組みを行った中で、従業員の能力向上・生産性アップにつながった「詳細なタイムスケジュールの導入」についてまとめた。		
研究方法	取組み前後での残業日数と残業時間を数量的に比較する。		
成果・結果	残業日数 平均30日/月 → 平均2日/月 残業時間 約57%減少		
考察	詳細なタイムスケジュールを導入することで、業務内容や行動予定が明確になり、時間のロスが少なくなり、標準時間内に作業を終えようと取り組むことで能力向上につながった。他者のスケジュールも確認できるので、フォローがしやすくなり、協力体制が向上した。予定時刻より早く作業を進められた時には、次の予定までの「すきま時間」に別の作業を行うことができ、生産性が向上した。		
アピールポイント 伝えたいこと 他のホーム・取組みと比較した 優位性など	作業内容を細分化し、タイムスケジュールを詳細に作り上げることで、目的意識や達成意欲を高める事ができる。別々の作業を行っていても、他者の担当内容やタイムスケジュール（進捗状況）を確認することができ、自然と声掛けや助け合いが生まれ、協力意識が高まった。「時間内で作業を終える」という目標に向かいひとつになることで、結束力が高まり達成感を得ることができた。		
有老協以外での 本事例の発表・ 応募状況			